

飛騨市公共交通会議アドバイザー

名古屋大学大学院 環境学研究科附属持続的発展教育研究センター

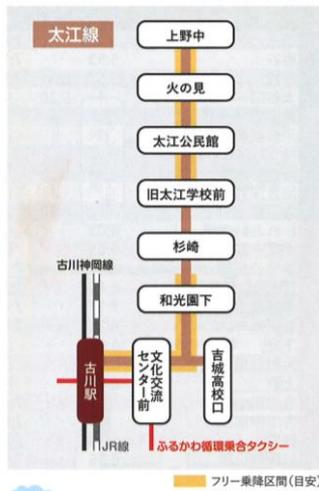
加藤教授よりいただいたご意見

古川エリアについて

①ふるかわ循環乗合タクシー、太江線について

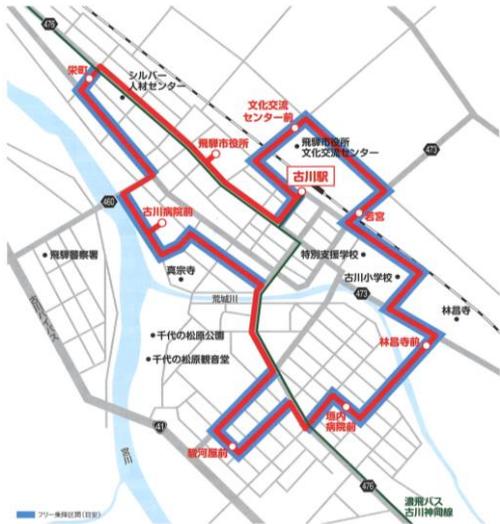
- ・太江線を含め、デマンド式に見直し。
- ・停留所を20ほど設置し、飛騨古川駅を基地として電話（理想は各停留所からのボタン）をもらい直行する。

太江線



H27 0.4人 | H28 0.4人

【市街地線】ふるかわ循環乗合タクシー 運賃:200円 運行日:平日(土日祝および12/31~1/31運休)



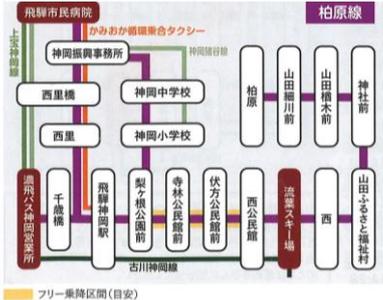
H27 0.3人 | H28 0.4人

神岡エリアについて

②吉田線、柏原線について

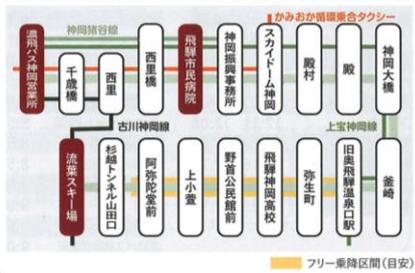
- ・振興事務所、市民病院、パロー、割石温泉の4カ所は、必ず停車することが基本。
- ・この停留場所に行くことが条件とし、本数が減少も検討。
- ・乗換を必要とするなら時刻表に分かりやすく記載。

【地域路線】柏原線 運賃:200円 運行日:平日(土日祝および12/31~1/31運休)



H27 0.6人 | H28 0.7人

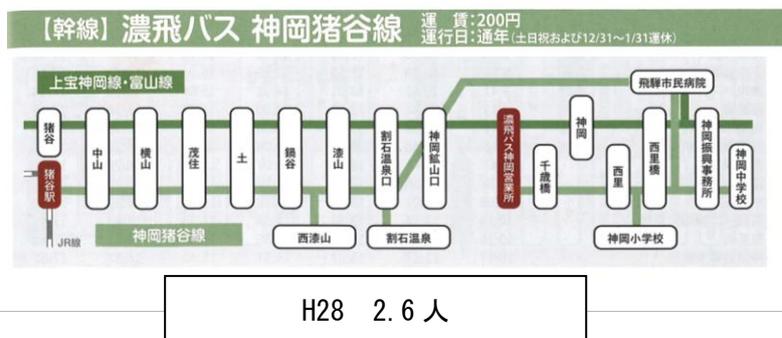
【地域路線】吉田線 運賃:200円 運行日:通年(12/31~1/31運休)



H28 8.1人

③神岡猪谷線について

- ・奥飛驒温泉口駅へ到着する便に見直し。
- ・公有民営補助（バス購入費の 1/2 補助）を使い、ラッピングバスを購入し、運行事業者へ貸し出したらどうか。



④ターミナルをつくる

- ・神岡町にターミナルがないことが最大の欠点。
- ・ターミナルには観光案内が必要であり、そこから市内循環や他の地域にも行ける仕組みづくりが必要。

⑤東京大学宇宙線研究所への路線について

- ・公共交通として新規路線の整備。
- ・但し、料金については200円ではなく、ある程度の負担をしてもらう額。

河合宮川エリアについて

スクールバスとの混乗もあり、現状維持でいいと思う。

★見直しによって何人乗車数が増えるかが重要（1人路線が3人という話ではない）。1人しか乗っていない路線で1人の意見に耳を傾ける必要はあっても、それを解決するために労力を費やすことは公共交通ではない。